

潮流



今年一月、米国小児科学会誌に「タバコの煙暴露に安全なレベルは存在しない」という「サイドハンドスモーク」の概念を取り上げた論文が発表されました。まだ正式な日本語訳はないようですが、「三次喫煙」や「残留受動喫煙」「残留煙」などといわれています。今年三月に厚生労働省が

松田 隆

NPO法人未来副理事長
鳥取県中部医師会副会長

出した「受動喫煙防止対策のあり方に関する検討会の報告書」の中にも「残留たばこ煙成分」等の新しい概念として、情報提供が重要だと記載されています。喫煙者がタバコの煙を直接吸い込む能動喫煙をファーストハンドスモーク、肺がん、喉頭がん、流産、乳児突然死症候群などの危険性が高まります。特に副流煙は、喫煙者自身が先から立ち上るくすぶつた煙(副流煙)が拡散して環境タバコ煙となり、近くにいる人がその煙を吸われます。喫煙者でなくても、心筋梗塞、脳卒中、肺がん、喉頭がん、質ボロニウム、ライターに使用されるボタン、シドスモークの危険性を知らず、喫煙中であろうと「とりも」もやっています。

サイドハンドスモーク

ク、非喫煙者が他人のタバコの煙を吸われる受動喫煙をセカンドハンドスモークとして、健康増進法やタバコ規制枠組み条約(FCTC)では室内での禁煙を求めています。

者がフィルターを通して吸う主流煙より多くの有害物質が含まれていまして、健康増進法やタバコ規制枠組み条約(FCTC)では室内の場合、煙が消失した後にもタバコの煙に含まれる物質が、喫煙者の髪の毛、衣類、部屋のカーテン、ソファなどに付着し、有素などがあります。この論文では、受動喫煙の知識を持っている人は多いものの、子どもの自宅を完全に禁煙している家庭が多いと指摘しています。子どもが望まれます。

有害物質をまき散らし、さまざまな病気を引き起こすことを理解し、室内、車内は完全禁煙とし、家族全員が禁煙することが望まれます。今年も三カ月間の禁煙に成功された方には、鳥取県知事名入りの卒煙証書が授与されます。多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

喫煙者が吐き出す煙、呼出煙)や、タバコの物質が、喫煙者の髪の毛、衣類、部屋のカーテン、ソファなどに付着し、有害素などがあります。この論文では、受動喫煙の知識を持っている人は多いものの、子どもの自宅を完全に禁煙している家庭が多いと指摘しています。子どもが望まれます。今年も三カ月間の禁煙に成功された方には、鳥取県知事名入りの卒煙証書が授与されます。多くの皆さんのご参加をお待ちしております。

(倉吉市)